

平成30年10月4日

J A 御中
(営農担当部署)

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会
(事務局：J A全農ふくれん 担い手支援課)
(公 印 省 略)

[緊急]

営農情報 1 2

台風25号接近に伴う技術対策について

台風25号が北上しており、福岡県には10月6日頃に最接近する恐れがありますので、下記の事項を参考に、技術対策の実施をお願いします。

留意事項

ほ場・農業用施設の見回りは、気象情報を十分に確認し、大雨や強風が治まるまでは行わないで下さい。また、大雨等が治まった後の見回りにおいても、増水した水路など危険な場所には近づかず、人命を最優先に事故防止の徹底に努めてください。

1 水 稻

- 収穫期となっているほ場は、可能な限り台風襲来前に収穫する。台風通過後に収穫するほ場では、落水管理とし、台風通過後、早急に収穫する。
- 収穫期前のほ場は、深水管理を実施する。また、台風通過後の数日間は、ほ場の水を切らさない程度に浅水管理とする。
 - ・強風による葉の裂傷の防止のため。
 - ・稲体表面からの異常な蒸散により脱水症状となる「急性萎凋症状」防止のため。
- 収穫期が近いほ場で倒伏した場合は、台風通過後、早急に落水し、穂発芽を防止する。

2 大 豆

- 台風接近前に畦溝や排水溝の整備を行う。
(台風による停滞水を出来るだけ早くほ場外に排出するため。)
- 台風通過後は、再度、畦溝や排水溝の点検・整備を行う。
ほ場内に停滞水がない場合は、本暗きよの栓は、基本、落葉期まで閉めたままにし、停滞水がある場合は、本暗きよの栓を開けて排水した後、乾燥防止のため、再び栓を閉める。

以上